

倫理委員会審議内容

令和8年8月21日開催

No.3	申請者:副看護師長 平安名 亜美
課 題	琉球病院における行動制限最小化の取り組み
研究の概要	当院の認識や葛藤の状況、行動制限最小化にどのように取り組んでいるかを明らかにし、患者の尊厳を尊重したケアの実践を支援することを目的とした。 研究方法:調査研究(一部自由記述を含む・ミックスメソッド) 研究対象者:一般精神科病棟で勤務している職員 方法:独自のアンケートを作成し調査 質量データと量的データを同時に集め、結果を統合し分析 自由記述で書かれた内容をコード化、またテーマごとに分析
判 定	承認
利益相反審査判定	承認

倫理委員会審議内容

令和8年8月21日開催

No.4	申請者:加藤 勇人
課 題	精神科入院医療におけるインフォーマルな強制の様相
研究の概要	日本の精神科入院医療において、患者の経験と看護師の実践という双方の視点を通して、インフォーマルな強制の様相とその背景にある構造的特徴を明らかにすること。 研究方法:構成主義を哲学的基盤として採用し、質的研究を実施する。外来通院患者、精神科救急病棟で勤務する看護師を対象に2段階で研究を実施する。 第一段階:精神科救急病棟への入院歴がある外来通院患者を対象に約1時間の半構成的インタビューを実施、病棟ルールの受け止め方、意思表示をあきらめた経験、インフォーマルな強制を受けた経験の意味付けなどを聴取し、質的記述的に分析する。 第二段階:看護師10名を対象に参加観察および半構成的インタビューを実施し、質的記述的に分析する。インタビューデータの内容のみを分析対象とし、参加観察の内容についてはデータ分析の対象とはしない。参加観察では研究者が病棟の運用状況を確認し、研究協力者のインフォーマルな強制に関する語りを促すための足掛かりとするものであり、実践についての評価等については
判 定	条件付承認
利益相反審査判定	承認

倫理委員会審議内容

令和8年8月21日開催

No.5	申請者:看護師 中野 里咲
課 題	医療観察法病棟のMDT会議におけるベテラン看護師の実践知プロセス
研究の概要	医療観察法病棟のMDT会議において、ケアコーディネーターとしての役割を担うベテラン看護師が、どのような経験や葛藤、学びを通して実践知を形成してきたのか、そのプロセスを明らかにすることである。ベテラン看護師が有する暗黙知を言語化し、若手看護師への教育的視点や多職種連携を促進するための知見を得ることを目指す。 対象:医療観察法病棟に勤務するベテラン看護師3名 (医療観察法病棟において一定年数以上の勤務経験を有し、看護師長の推薦を受けた者) 方法:質的記述的研究 ・データ収集:半構造化インタビュー 面接では主に「MDT会議で大切にしていること」「多職種との葛藤や困難経験」「実践知形成の転機」「現在の実践に至った学びや工夫」について語ってもらい、面接内容については本人の同意を得た上で録音し、逐語録を作成する。 分析には複線経路等至性アプローチ(TEM)を用い、実践知形成までの経験や学びの過程を構造的に明らかにする。
判 定	承認
利益相反審査判定	承認